

令和2年7月21日

この夏、無策で緩むと取り返しのつかない第2波が！

学長 荒川哲男

夏が来ればコロナは弱ると信じていた。甘かった！ こいつはどこまで予想を裏切るのか。そもそもこんなに被害が拡大するとは。すでに世界で1000万人以上が感染し、50万人以上が死亡している。そして留まることなく増え続けているのだ。日本は決して例外にはならない。緩むと第2波は必ずやって来て、間違いなく第1波より大きくなる。

しかし希望はある。検査・予防・治療の研究は着実に進歩しており、本学で開発した抗体検査薬が国で有力候補に選定された。この研究を元に、ノーベル賞学者の山中伸弥先生チームと予防・治療薬の開発に取り組んでいる。世界も競って解決に邁進している。トンネルを抜けるのは遠くはない。それまでは気持ちを引き締め、第1波で学んだ新しい生活様式を守って、明るい未来を笑顔で迎えよう！

★予防の基本：飛沫からの直接感染は注意されるが、ウイルスの付着部位（飛沫が落ちたところや感染者が触ったところ・もの）からの接触感染は軽視されがちになるので注意

1. マスク、手洗い（できれば洗顔も）、うがいの励行：正しい方法で行うこと
2. 人との距離を2メートル以上あける（ソーシャルディスタンス）
3. 3密（密閉、密集、密接）を避ける

★最近の感染拡大ポイント：「若者」の「夜の街」での感染が拡大しています。

1. 換気の悪い、狭い空間で、飲食をしながらの、大声での会話は控える
2. 大皿から直接、料理をとったり、お酌や回し飲みは行わない
3. 感染予防対策をとっているお店（「感染拡大防止宣言ステッカー」・「大阪コロナ追跡システム」QRコード貼付店）を利用する

★お出かけのポイント

1. 東京都など感染流行地域への旅行や出張は控える
2. 山や海など屋外や、入場制限や換気がしっかりされているところを選ぶ
3. 満員電車など3密となりそうな移動はできる限り避け、可能なら車移動をする。
4. 合宿やゼミ旅行など団体旅行は控える
5. 体調不良の人がいたら、キャンセルをためらわない
6. 旅先でも体温計やマスク、アルコール消毒液を携帯する